

令和4年度
事業報告書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

令和4年度 事業報告

1. 社会福祉事業

本部運営事業 総括（第2種社会福祉事業）

- I 本部運営・啓発事業
- II 沖縄県障害者社会活動推進事業
- III 指導者育成事業
- IV 日常生活支援事業
- V 社会参加支援事業
- VI 全国障害者スポーツ大会九州予選会派遣事業
- VII 県身体障害者スポーツ振興事業
- VIII 共同募金配分事業
- IX 沖縄県いきいき長寿センター助成事業

障害者支援施設 総括（第1種社会福祉事業）

- I 障害者支援施設 太希おきなわ
 - ・施設入所支援事業
 - ・生活介護事業
 - ・短期入所事業
 - ・就労継続支援B型事業

障害福祉サービス（第2種社会福祉事業）

- II 共同生活援助事業所おきしんきょう
 - ・共同生活援助事業
- III 相談支援事業所沖身協
 - ・特定相談・障害児相談支援事業
- IV 就労支援センター太陽の町
 - ・就労継続支援B型事業

2. 公益事業

3. 収益事業

令和4年度 本部運営事業 事業報告

[本部運営事業 総括]

当協会は、誰もが安心して暮らすことのできる共生社会の実現のため、8つの重点目標を中心に社会全体の柱「心のバリアフリー」の啓発・広報活動に取り組みました。

第5次沖縄県障害者基本計画（令和4年度～令和13年度）の初年度にあたる今年度は、第55回沖縄県身体障害者福祉大会を与那原町にて開催し「障がい者の人格を尊重し誰もが安心して暮らせる共生社会を」大会スローガンに掲げ盛会裏に終了しました。

障害者支援施設の運営においては、令和4年7月末頃から新型コロナウイルスの集団感染に見舞われながら、感染症の有事における業務継続計画（BCP:Business continuity plan）をもとに、施設利用者を守るための支援を、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部や西崎病院の協力のもと行いました。

また、共同生活援助事業所おきしんきょうにおいても、各フロアに新型コロナウイルスの感染者が発生し、ある程度の行動制限を強いられましたが、重症に至るケースは無く安堵しました。

障害福祉サービス（相談支援事業所・就労支援センター）や公益事業の実施についても、沖縄県対処方針の【急激な感染拡大を抑え込み、県民の生活と命を守るための緊急対策】に基づく制限の中でも実績を残せたことは、今後の社会情勢の変化にも対応できる体制強化に繋がったことと思います。

さらに、法人創立50周年を迎え様々な取り組みとして、実施してきた事業については、今後の法人の運営強化に繋げていきます。

最後に経営理念である「利用者本位」「社会貢献」「責任と実行」を念頭におき、県内の社会福祉法人相互の連携・協働による諸課題の対応、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする県民に対し、公益的な取り組みや社会貢献活動に努め、令和4年度事業を実施しました。

I 法人本部運営事業

1 本部運営・啓発事業

(1) 法人経営の適正化

理事会、評議員会等を開催し、法人の事業や経営状況について情報提供することで法人経営への参画及び経営執行体制の強化を図った。また毎月開催する会長会では事業の進捗状況、障害福祉サービス利用状況等、情報提供し経営強化を図った。

- ①理事会 第1回R4年5月26日(木)・第2回 R4年10月19日(水)
第3回R5年2月24日(金)
- ②評議員会 定時(第1回) R4年6月7日(火)・第2回R4年11月8日(金)
第3回R5年3月17日(金)
- ③会長会議 毎月第1水曜日(全11回開催)※11月は未実施
- ④第三者委員会 適時(年2回)

(2) 法人経営の透明性の確保

監事監査及び税理士による外部監査を実施するとともに、事業報告、財務諸表を広報誌やホームページへ掲載し、法人経営の透明性を確保した。

- ①監事監査の実施 R4年5月20日(金) 会議室にて監事2名
- ②外部監査の実施 各経理区分事に毎月の財務証票等の監査を実施した。
- ③法人情報の開示

(3) 関係機関・団体との連携

①県等の各種委員会等への参画

県域や地域の福祉機関等の委員として参画し、必要な助言や情報提供等を行った。

- ・沖縄県福祉サービス運営適正委員会選考委員会 [山城会長]
- ・沖縄県社会福祉協議会 評議員会 [運天常務]
- ・生活福祉資金貸付審査等運営委員会 [運天常務]
- ・沖縄県障害者自立支援協議会 権利擁護部会 [仲本局長]
- ・沖縄県社会福祉審議会 (地域福祉分科会・福祉施設分科会・身体障害者分科会)
[仲本局長]
- ・沖縄県障害者施策推進協議会 [仲本局長]
- ・沖縄県まちづくり審議会 [仲本局長]
- ・「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」審査委員会
[仲本局長]
- ・沖縄県社会福祉施策・予算対策協議会 [仲本局長]
- ・沖縄県歯科口腔保健推進協議会 [仲本局長]
- ・沖縄県歯科SUN会議実行委員会 [仲本局長]
- ・一般社団法人 沖縄県セルフセンター評議員会 [伊佐施設長]
- ・移動等円滑化評価会議沖縄分科会 [山城会長]
- ・いとまん平和トリムマラソン実行委員会 [山城会長]
- ・第37回国民文化祭及び第22回全国障害者芸術・文化祭沖縄県実行委員会 [運天常務]

(美ら島おきなわ文化祭 2022 沖縄県実行委員会)

- ・ 沖縄県視覚障害者福祉協会評議員会 [運天常務]
- ・ 社会福祉法人転生会評議員会 [仲本局長]
- ・ 沖縄県障害者施設協議会 [伊佐施設長]
- ・ 沖縄県身体障害児者施設協議会 [伊佐施設長]

②市町村身協等との連携強化

- ・ 市町村身障協や障害別団体の定期総会や自主活動等へ参加協力することで、各々の活動展開を知ることができ、本会事業とのタイアップまたは課題に向けた情報提供や助言等を行い連携強化に努めることができた。

③日身連及び九身連との連携強化

- ・ 日本身体障害者団体連合会 理事会 (年2回 WEB 会議) 山城会長
- ・ 日本身体障害者団地連合会 評議員会 (年2回 WEB 会議) 運天常務理事
- ・ 社会参加促進推進事業実団体 九州・沖縄ブロック連絡会議 (WEB 会議) 比嘉課長

(4) 財政基盤の強化

本会が行う社会福事業の情報等を広報誌やホームページへ掲載する等し、事業への理解促進を図り、会員の加入促進に努めた。

①会員の入会促進

新たに3件(企業・業者)加入

年度	企業A	企業B	特別A	特別B	A	B	C	合計
R4	2	8	17	9	61	59	15	171
R3	2	7	18	10	58	59	14	168

②物品販売等の収益事業の実施

- ・ 収益事業として物品販売等を行い自己財源を確保するなど法人の財政基盤の安定を図った。

③寄附件数 23件

④法人創立50周年記念チャリティー開催事業

【チャリティーモルック大会】

R4年7月23日(土) 豊崎海浜公園夢咲広場(豊見城市) 8チーム参加

R4年8月21日(日) 平和記念公園多目的広場(糸満市) 13チーム参加

R4年9月10日(土) 真喜屋運動公園(名護市) 台風接近のため中止

R4年10月1日(土) 金武町総合保健福祉センター(金武町) 28チーム参加

【チャリティーゴルフ大会】

R4年9月30日(金) 南山カントリークラブ 参加者157名

(5) 職員の資質の向上

法人研修委員会の職員研修開催、各種研修会等への参加及び職員の資格取得を支援することにより、職員の資質向上を図り、組織の業務体制を強化した。

①研修委員会の開催（年3回 R4.5.31、6/14、R5.3.9）

法人職員研修 全4回 R5.1.10、1.24、2.14、2.21 職員80名参加

テーマ：障害者虐待防止の基礎と事例 講師：溝口哲哉氏

②虐待防止委員会の開催（年5回 R4.4.28、6.22、10.27、12.22、R5.2.22）

③各種大会、会議及び研修会等への参加

R4.5.26（木）第1回八重瀬町障がい福祉事業所定例会「やえま〜る」

[照屋・宮城 相談員]

R4.6.22（水）第1回就労支援事業所連絡交流会 八重瀬町役場 [松本課長]

R4.6.23（木）全要研集会 第2分科会 オンライン [仲里]

R4.7.4（月）第1回南部圏域相談支援従事者等研修会 [肥後・照屋・宮城 相談員]

R4.7.27～8.15 障害者110番事業研修会 YouTube配信 [肥後・宮城・照屋・平田 相談員]

R4.8.25（木）第2回就労支援事業所連絡交流会 八重瀬町役場 [松本課長・新里]

R4.9.9（金）第1回八重瀬町内社会福祉法人連絡会 [比嘉課長]

R4.9.14（水）消費者教育講座 オンライン [照屋・宮城 相談員]

R4.9.22（木）社会福祉施設等給食担当職員研修 オンライン配信 [粟国栄養士]

R4.9.30（金）第39回九州障害児者施設研究大会（宮崎大会）分科会

オンライン配信 [伊佐施設長]

R4.11.5（金）精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修 [肥後 相談員]

R4.11.11（金）飲酒運転根絶県民大会 西原町さわふじ未来ホール [伊佐施設長]

R4.11.16（水）社会福祉法人の地域における公益的な取り組み担当職員研修会 オンライン

[大城課長]

R4.11.16（水）自殺対策相談従事者研修会 Web会議 [肥後・平田 相談員]

R4.11.19（水）介護の日講演会 県総合福祉センター [伊敷]

R4.12.13（火）沖縄県障害者支援施設協議会第2回施設長会 オンライン [伊佐施設長]

R4.12.16（金）沖縄県障害児者施設連携研修会 オンライン [伊佐施設長・虐待防止委員他]

R4.12.16（金）九州地区障がい者相談支援事業合同研修会 沖縄大会

[肥後・照屋・平田 相談員]

R4.12.19（月）都道府県経営協セミナー オンライン [伊佐施設長]

R4.12.19（月）障害者工賃向上支援事業職員研修会 県総合福祉センター [諸見田]

R5.1.19（木）第2回福祉サービスに関する苦情解決セミナー オンライン [伊佐施設長・大城課長]

R5.1.20（金）沖縄県災害派遣福祉チームスキルアップ研修 県総合福祉センター

[比嘉課長]

R5.1.27（金）障害者虐待防止マネージャー研修会 オンライン配信 [伊佐施設長]

- R5. 2.24 (金) 南部圏域相談支援従事者研修 オンライン [肥後・宮城・照屋 相談員]
- R5. 2.28 (火) 第2回八重瀬町内社会福祉法人連絡会 [大城課長]
- R5. 3. 5 (日) 南部地区身障協リーダー研修会 糸満市社会福祉センター
[仲本局長・比嘉課長・仲里]
- R5. 3.24 (金) 市町村障害福祉関係者及び障害福祉サービス従事者向け感染予防対策研修会
[伊佐施設長]

④ 資格取得の支援

- ・ 沖縄県喀痰吸引等研修特定の者対象指導講師講習 オンライン [島袋・知念 看護師]
- ・ 沖縄県喀痰吸引等研修第3号研修 受講期間 10.28~1.20 一般社団法人 Kukurū
(生活支援員 15名修了証交付)
- ・ 防火災害管理講習 12.20~21 浦添市 [松本課長 (甲種防火管理者証交付)]
- ・ 安全運転管理責任者等講習 3.2 浦添市 [比嘉課長 (安全運転管理者)]
- ・ サービス管理責任者更新研修 [吉川咲希・新里]
- ・ 沖縄県障がい者ピアサポート研修 (基礎研修) [肥後・宮城 相談員]
- ・ 介護福祉士取得 (1名)

(6) 相談事業

障害の有無に関わらず、すべての人が社会生活上で生じる就労、財産、人間関係等に関する相談、その他必要な事柄について、適切な助言または関係機関につなぐ等し、必要に応じた訪問等も行った。

(7) 関係団体連携連絡会及び研修会開催事業

本会事業の効果的な運営を促進するため、市町村身体障害者協会、障害者団体、地域等との定期的な連絡会や合同研修・講習会等を開催するとともに情報提供、育成指導を展開し、各種福祉活動への参加促進を図った。

① 第1回市町村身体障害者協会長及び事務担当者会議 (連絡会)

新型コロナウイルス感染症予防対策の為、北部地区、中部地区、南部地区に分散して三地区で開催した。また伊江村身協及び宮身連(宮古島市)より参加希望があったためオンライン(ズーム)にて対応した。

- | | | |
|------|---------------------------|------------------|
| 北部地区 | 期日：R4年6月24日(金) | 場所：名護市中央公民館研修室 |
| | 参集人員22名(伊江村身協オンラインにて参加) | |
| 中部地区 | 期日：R4年6月27日(月) | 場所：中城村護佐丸歴史資料図書館 |
| | 参集人員13名(宮身連オンライン参加) | 企画展示室 |
| 南部地区 | 期日：R4年6月29日(水) | 場所：沖縄県総合福祉センター |
| | 参集人員20名 | 403研修室 |
| 会議内容 | 令和4年度事業計画について・活動に関する情報交換等 | |

②第2回市町村身体障害者協会長及び事務担当者会議（連絡会）

新型コロナウイルス感染症対策が緩和されたことにより3年ぶりに一堂に会して対面での会議を開催した。また、今回より情報共有強化のため関係障害者団体（沖縄県視覚障害者福祉協会、沖縄県聴覚障害者協会、日本オストミー協会沖縄支部、沖縄県友声会、沖縄県腎臓病協会）へも案内を行い沖縄県視覚障害者福祉協会からの参加をいただいた。

期日：R5年3月7日（火） 場所：沖縄市民会館中ホール 参集人員40名
会議内容 令和4年度事業経過報告について、令和5年度事業計画について
市町村身協及び関係団体との情報交換

③日本身体障害者団体連合会研修会及び連絡会

第67回日本身体障害者福祉大会ふくおか大会 第1部の講演はYouTubeにて録画配信される。

④九州各県・政令指定都市団体長及び事務局長会議

九州における身体障害者団体の運営と活動促進を図るため協議会へ参画し、相互連携を図り福祉の増進に寄与した。（年2回 WEB 会議にて参加）

九州身体障害者福祉大会・九州ブロック身体障害者相談員研修大会に関すること等

（8）啓発広報事業

障害者の自立と社会参加の推進を図るための機関紙等での情報提供、本会ホームページ掲載やSNS等を通して障害者福祉に関する啓発や関係機関の取組やイベント情報を発信し啓発広報を図った。

①日身連新聞 毎月発送（沖縄県・各市町村身障協・各障害別団体等）

②沖身協だより 第62号（R4年8月）、第63号（R4年12月）、
第64号（R5年3月） 年3回発行

③ホームページでの情報発信 随時

（9）第37回障害者による書道・写真全国コンテストの応募取りまとめ

実施期間：R4年7月～R5年1月

出展数：書道30点・写真2点 受賞者：なし

（10）地域社会に貢献する取り組み・地域社会貢献事業

八重瀬町社会福祉協議会が主催する町内法人連絡会に参画することで、地域課題の現状やニーズ、他法人施設との情報交換ができ、地域ニーズに合わせた当法人の明確な役割をもって積極的に取組むことができた。

また各機関（学校・行政・障害者団体）とも連携しながら職員の専門性やノウハウを活かし、様々な取組みや活動へ参画した。

期日	団体名・催物名称	会場	参加
R4.5.5	こどもあそびまつり in 玉城	玉城青少年の家	比嘉課長・仲里・安里・鈴木
R4.5.20	与那原町交流センターひざし 軽スポーツクラブ（卓球バレー）	与那原町交流センター	比嘉課長・仲里・伊敷・安里
R4.6.11	日本青年会議所沖縄地区協議会主催 ポッチャ交流会	県総合運動公園体育館	伊敷・安里
R4.8.10	沖縄市放課後等デイサービス 「oliveやまうち」ポッチャ体験交流会	コザ運動公園武道場	比嘉課長・安里
R4.9.12	白川小学校総合学習車いす体験	白川小学校	比嘉課長・仲里・伊敷・安里
R4.9.25	南城市身協モルック大会	佐敷老人福祉センター	比嘉課長・仲里・伊敷・平田
R4.10.8-9	中城村スポーツ推進員主催 令和4年度中城村生涯スポーツ体験会	中城村民体育館	比嘉課長・仲里・伊敷
R4.10.19	南城市福祉教育スポーツ交流 沖縄インターナショナルスクール中等部	玉城総合体育館	仲里・安里
R4.11.28	南城市福祉教育スポーツ交流 沖縄インターナショナルスクール高等部 （ポッチャ）	玉城総合体育館	比嘉課長・仲里・伊敷・安里
R4.12.2	楽ワーク福祉作業所モルック体験	佐敷老人福祉センター	仲里
R4.12.6	南城市福祉教育スポーツ交流 知念小学校3年生（ポッチャ）	知念小学校体育館	比嘉課長・仲里・伊敷・安里
R4.12.7	新城小学校総合学習車いす体験	新城小学校	比嘉課長・仲里・伊敷・安里
R4.12.16	八重瀬町社協主催 清掃活動 （障害者一人世帯草刈り作業）	八重瀬町内	比嘉課長・伊敷・大城
R5.1.25	第1回アイルカップポッチャ交流会	東風平体育館	伊敷
R5.1.30	系満南小学校福祉教育ポッチャ体験	系満南小学校	比嘉課長・伊敷・安里
R5.2.7	南城市福祉教育スポーツ交流 佐敷小学校3年生	佐敷小学校体育館	仲里・伊敷・安里
R5.2.23	令和4年度障害者社会参加事業 モルックふれあい大会	恩納村総合福祉センター	仲里
R5.2.23	URUMA BOCCIA CHAMPIONSHIP 2023	うるま市勝連 B&G 海洋センター	伊敷
R5.3.2	宜野湾市真志喜中学校出前授業	真志喜中学校	業務課
R5.3.19	南城市身協会員交流会	佐敷老人福祉センター	仲里・平田
R5.3.20	うるま市障害者芸術文化発表会（設営）	うるみん	仲里
R5.3.26	うるま市身協スポーツ教室モルック	うるみん	仲里・伊敷
毎週木曜 R4.12～	八重瀬町社協 東風平味噌汁会	東風平公民館	仲本局長

II 沖縄県障害者社会活動推進事業【県補助】

(1) 沖縄県障がい者研修・講演会等開催事業

障害者の社会参加に関する関係法令や施策を障害福祉関係者・団体等とともに学び、地域社会における障害及び障害あるものの課題や役割などについて、広く共通認識を深めることを目的に実施した。

期日：R5年3月7日（火） 場所：沖縄市民会館中ホール 参加者100名

内容：「障がい者の防災について」

第1部 テーマ「災害と障害」

講師 熊本学園大学 社会福祉学部教授 東 俊裕 氏

第2部 テーマ「地域防災の取り組みについて」

～障がい者が積極推進する地域防災力強化事業～

講師 NPO 法人 防災サポート沖縄 理事長 長堂 政美 氏

(2) 第18回沖縄県障害者グラウンド・ゴルフ開催事業

障害者の機能回復訓練と体力の維持増強を図るとともに相互の親睦を深め、自立と積極的な社会参加を促進し、社会の理解と認識を深めることを目的として、グラウンド・ゴルフ大会を開催した。

期日：R5年1月29日（日） 場所：沖縄県総合運動公園レフト-4 参加者150名

III 指導者育成事業【沖縄県地域生活支援事業】

(1) 音声機能障害者発声訓練指導者養成事業

講習会を開催し喉摘者の発声訓練を行う指導者の養成する予定であったが宮古島市、石垣市ともに、新型コロナウイルス感染症の感染状況により参加者が集まらないことから開催を見送った。

(2) 沖縄県障害者ピアサポート研修事業

ピアサポーター及びピアサポーターの活用方法等を理解した障害福祉サービス事業所等の管理者等の養成を図ることにより、障害福祉サービス等における質の高いピアサポート活動の取組を支援することを目的に開催した。離島圏域からの参加も見込み対面とオンラインでのハイブリッドで実施し36名の受講者が基礎研修を修了した。

期日：R5年2月25日（土）・26日（日） 場所：シャボン玉石けんくくる系満
修了者36名

Ⅳ 日常生活支援事業【沖縄県地域生活支援事業】

(1) オストメイト社会適応訓練事業

人工肛門、人工膀胱保持者に対する日常生活に必要な訓練・指導等を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9月まで活動を自粛し、10月から那覇南部地区のみで開催。オストメイトに関する啓発活動をオストメイトや各市町村の障害者団体に広報することで、活動を再開できるよう取り組んだ。

期日：R4年4月～R5年3月 場所：南部地区（琉球光和）

(2) 音声機能障害者発声訓練事業

疾病等により喉頭を摘出し音声機能を喪失した者の生活の質的向上を目指して、食道発声訓練を実施した。

実施期間：R4年4月～R5年3月 年間48回（月4回）
場所：沖縄統合医療学院2号館・サンアビリティーズうらそえ

Ⅴ 社会参加支援事業【沖縄県地域生活支援事業】

(沖縄県障害者社会参加推進センター設置・運営)

沖縄県障害者社会参加推進センターを運営し、障害者社会参加推進協議会の開催及び専門部会（身体・知的・精神）の運営、障害者及びその家族の抱える人権問題・生活支援等、各種の心配事や悩み事に関する相談対応（障害者110番）に関する事業を行った。

(1) 沖縄県社会参加推進協議会及び専門部会の開催

期日：R5年3月29日（水） 場所：ZOOMによるオンライン会議

委員：協議会委員9名、専門部会委員4名

内容：各団体の社会参加推進に関する取り組みについて

沖縄県身体障害者福祉協会（沖縄県友声会、オストミー協会 県支部）

沖縄県視覚障害者福祉協会

沖縄県聴覚障害者協会（沖縄聴覚障害協会者情報センター）

沖縄県手をつなぐ育成会

沖縄県精神保健福祉会連合会

令和3年度 地域生活支援事業 市町村実施状況

(2) 「障害者110番」運営事業

期間：R4年4月～令和5年3月 場所：沖縄県身体障害者福祉協会

配置：専任相談員1名

相談内容	R4 件数	R3 件数
人権問題（財産・虐待・セハラ・雇用・金融・対人関係）	11 件	51 件
生活支援（生計・税金・年金・職業・結婚・家事・育児等）	42 件	421 件
医療・福祉（保健医療・福祉・介助・介護・施設入所）	51 件	298 件
その他（日常生活上の相談に関する事）	509 件	221 件
合 計	613 件	991 件

（3）第62回沖縄県身体障害者福祉展

沖縄県身体障害者福祉大会の開催にあわせて、身体障害者の社会経済活動への参加並びに文化・芸術活動を振興するため、障害者の作品展や音楽会など発表の場を設けるとともに、創作意欲を助長するための環境の整備や必要な支援を行った。

期日：R5年2月5日（水）～6日（日） 場所：中城村護佐丸歴史資料図書館
 内容：「陶芸」「書道」「工作」「縫製」「絵画」「写真」等の作品を展示およびホームページや動画を用いたバーチャル展を実施。展示会場にはボードゲーム体験コーナーも設置した。

出展数：34団体・241作品（R3年は33団体・244作品）
 会場見学者472名 パーチャル展閲覧870回（※R5年2月5日時点）

部門別出展内訳

部門	陶芸	書道	工作	縫製	絵画	写真	その他	合計
出展数	14	44	80	27	57	14	5	241

オープニングセレモニー

期日：R5年2月1日（水） 場所：中城村吉の浦会館
 内容：本展示会における受賞者への表彰式典（被表彰者 個人33・団体5）
 来場者数：約90名

VI 全国障害者スポーツ大会九州予選会派遣事業

第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」への出場権をかけた、九州地区予選会は新型コロナウイルス感染症に係る協議を行い、県外での開催競技はチームの意向を踏まえ派遣中止、沖縄県開催となる競技は中止を決定した。なお、地区代表は予選開催地主管団体にて抽選を行い選出された。

（1）車いすバスケットボール競技（開催中止）

期日：R4年6月4日（土）～5日（日） 場所：沖縄県（豊見城市民体育館）
 九州代表：福岡県（抽選にて決定） 申込県（沖縄県・鹿児島県・福岡県）

(2) 聴覚障害者バレーボール競技 (派遣中止)

期日：R4年5月21日(土) 場所：長崎県

九州代表(男子)：長崎県(予選会にて決定) 申込県(長崎県・福岡県・鹿児島県)

九州代表(女子)：長崎県

(3) グランドソフトボール競技 (派遣中止)

期日：R4年5月14日(土)～15日(日) 場所：長崎県

九州代表：福岡県(抽選にて決定) 申込県(佐賀県・福岡県)

Ⅶ 県身体障害者スポーツ振興事業

(1) 第58回沖縄県身体障害者スポーツ大会

県内の障害者がこの大会に参加し、競技等を通じスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的に開催した。コロナ禍で3年振りの開催にあたり感染症対策ガイドラインを作成し大会関係者への周知徹底ならびに対策を遵守することで、無事に全日程を終えることができた。

参加状況としては、障害者支援施設(3施設)が出場辞退し、感染対策により当日棄権の選手も多く見られたが、スポーツの場を通じた交流によって社会参加が広がる機会となった。なお、台風により2競技が延期開催となった。

(台風のため延期となった競技)

フライングディスク R4.9.5 → R5.1.15へ

卓球競技(一般) R4.9.17 → R4.10.29へ ※会場都合等により種目分散し開催

※以下記載の選手数は申込者数ではなく『参加者数』とした。

【アーチェリー競技】

期日：R4年8月7日(日) 場所：県立鏡が丘特別支援学校

参加：選手12名、大会役員37名

【水泳競技】

期日：R4年8月20日(土) 場所：奥武山公園プール

参加：選手16名、大会役員24名

【フライングディスク競技】延期開催

期日：R5年1月15日(日) 場所：県総合運動公園レクドーム

参加：選手98名、大会役員56名

【卓球競技(STT)]延期開催

サウンドテーブルテニス

期日：R4年10月29日(土) 場所：サン・アビリティーズうらそえ

参加：選手13名、大会役員18名

【卓球競技（一般）】

期日：R4年12月17日（土） 場所：豊見城市民体育館

参加：選手21名、大会役員35名

【本大会・陸上競技】

期日：R4年10月8日（土） 場所：県総合運動公園陸上競技場・補助競技場

参加：選手196名、大会役員294名

団体対抗競技 優勝 うるま市福祉地区

(2) 宮古・八重山障害者スポーツ大会開催事業

【第15回宮古地区障がい者スポーツ大会】

宮古地区で開催される身体・知的・精神の三障害合同のスポーツ大会。参加団体は事業所等が中心となっている。3年振りの大会は、種目制限や日程短縮等の感染症対策を講じたうえで開催。参加者は従来の約半数程度、学生ボランティアの動員は不可だった。

期日：R4年11月12日（土） 場所：宮古島市陸上競技場

参加：選手230名、大会役員60名

【八重山地区】

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため開催を見送る。

(3) 身体障害者スポーツ教室開催事業

障害の有無を問わず誰もが参加できるレクリエーションボッチャを通じて、親睦と交流を深め、積極的な社会参加と共生社会の促進に寄与し、障害者スポーツの普及・振興を図ることを目的に開催した。

【北部地区】 R4年10月21日（金） 場所：本部町民体育館 参加：64名

【中部地区】 R4年11月11日（金） 場所：うるま市石川体育館 参加：31名

【南部地区】 R4年12月2日（金） 場所：豊見城市民体育館 参加：80名

(4) 障害者スポーツ指導員養成事業

令和4年度沖縄県障害者スポーツサポーター養成講習会

多様な障害者スポーツ活動に対応するため障害の基本内容とスポーツの基本的知識・技術を理解し、地域の行事や大会に参加するなど、地域の障害者スポーツの振興、活動促進に寄与することができる障害者スポーツサポーターの養成を目的に開催した。受講修了者は今後、スポーツをはじめとする様々な事業・イベントへ協力もしくは参加していくことで共生社会の促進に寄与していくことが期待される。

受講修了者44名（障害者関係施設職員や市町村スポーツ推進委員等）

【北部地区】 R4年9月23日（金） 場所：名護市青少年の家 12名修了

【中部地区】 R4年11月5日（土） 場所：うるま市立勝連地区公民館 16名修了

【南部地区】R4年10月15日（土）場所：南城市老人福祉センター 16名修了

Ⅶ 共同基金配分金事業

（1）第55回沖縄県身体障害者福祉大会（法人設立50周年記念）の開催

本県の身体障害者及び関係者等が一堂に会し、身体障害者の福祉増進及び関係施策の一層の向上と障害福祉計画にもとづく諸施策の具体的な推進を図り、新しい次代に向けた身体障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とし開催した。

期日：R4年11月19日（土） 会場：与那原町上の森かなちホール

参集人数：約250名

大会スローガン：「障がい者の人格を尊重し誰もが安心して暮らせる共生社会を」

大会決議：・障害者の意思決定の尊重を図ろう

・障害者の雇用や就労の拡大を推進させよう

・地域に根差した心のバリアフリーを広げよう

・コロナに負けない地域との連携強化を図ろう

・誰もが安心して暮らせる共生社会を実現させよう

第1部 表彰式典

身体障害者福祉事業功労者8名 特別永年勤続功労者12名

永年勤続19名 大会長特別感謝表彰1名

第2部 講演会

トークセッション「パラスポーツが変えたもの」

秦 由加子氏 仲里 進氏 リアルドラミちゃん（ファシリテーター）

各種委員会：準備委員会 R4年6月24日（金）※北部地区

R4年6月29日（水）※南部地区

実行委員会 R4年8月19日（金）

表彰委員会 R4年10月14日（金）

処理委員会 R5年1月19日（木）

（2）第35回九州身体障害者ゲートボール大会派遣事業

期日：R4年9月15日（木）～16日（金） 場所：宮崎県

派遣：南城市身体障がい者福祉協会チーム

R4年6月26日（日）に予選会を行ない決定したが、新型コロナウイルス感染症の対策により九州大会が中止となった。

備考：助成事業変更（中止）の申請を行った。

IX 沖縄県いきいき長寿センター助成事業

(1) 第67回日本身体障害者福祉大会（ふくおか大会）

全国の身体障害者が一堂に会し、障害者施策について協議し、すべての人々が互いに助け合い、共に安心して心豊かに暮らせる共生社会の実現を目指して、身体障害者の自立と社会参加の促進を目的として開催された。

期日：令和4年6月20日（月） 場所：福岡県（オンライン）

備考：コロナウイルス感染拡大の影響からYouTubeによるライブ配信で開催となり派遣は行わなかった。

大会長表彰被表彰者 野原龍信氏

(2) 第29回九州ブロック身体障害者相談員研修会（鹿児島県）派遣事業

九州各県・政令指定都市の身体障害者団体・相談員が一堂に会し、事例発表を通じた情報の共有、相談支援に必要な知識・技術の向上を図ることを目的とした研修会に職員を派遣した。

期日：R4年12月18日（金） 場所：鹿児島サンロイヤルホテル

派遣人員：5名

大会特別表彰 石川健氏（評議員） 組織活動功労表彰 仲田美和子氏（北中城村）

備考：(1)の大会がオンライン開催となったため、第29回九州ブロック身体障害者相談員研修会は福岡県から鹿児島県に場所を変更し開催された。

(3) 第15回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会（鹿児島県）派遣事業

九州各県・政令指定都市の身体に障がいのある方が自立と社会参加を促進するため一堂に集い、相互の親睦と交流を深めるとともに、障がい者スポーツに対する社会の理解、認識を深める事を目的とした大会に沖縄県代表チームを派遣した。

期日：R4年11月10日（木）～11日（金）

場所：鹿児島ふれあいスポーツランド

派遣：うるま市身体障がい者協会チーム

※令和4年6月5日（日）に予選会を行ない決定した。

結果 27 チーム中 27 位

令和4年度 障害者支援施設 事業報告

〔障害者支援施設 総括〕

「障害者総合支援法」の基本理念のもと、地域社会における共生社会の実現に向けて、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための体制の整備に継続して取り組み、「安心・安全」な福祉サービスを提供するため「太希おきなわ人権擁護マニュアル」のもと、「障害者差別解消法」「障害者虐待防止法」の意識を高めて、利用者の人格尊厳を尊重したサービスを展開しました。

令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス蔓延防止の観点から、事業所内の利用者の皆様及び職員への新型コロナウイルスワクチン接種の推奨、PCR検査や抗原検査キットを活用し感染対策強化に努めました。また、BCP（業務継続計画）を活用し対策を講じたものの新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年7月に福祉施設内でのクラスターによる事業の縮小、休止を余儀なくされ、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部の協力のもと全職員が、一致団結し昼夜を問わず長期間、よく奮闘し感染症を最小限に抑え込み困難を乗り越える事ができました。

施設入所支援事業では、新型コロナウイルス蔓延防止の取り組みによる利用者の精神的な鬱積もありましたが、施設内においてレク活動などの様々な取り組みや、一定の制限を設けた家族との面会などによりストレス緩和を図りました。また、施設の入口を1か所に定め、検温・手指の消毒を実施し風邪症状者が出た場合には、各階の生活空間を分離するために、フロアのゾーニングを必要に応じて講じました。

就労継続支援B型事業でも、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一時は就労事業収入の減少もありましたがパンの販路拡大や、マスコミへの情報発信の力を借りた、琉球みやらびこけしの受注販売等の取組みを根気強くやり通した結果、目標を達成し利用者、職員の自信に繋がると共に、形あるものとして利用者の工賃に反映することができました。

令和4年度も本会の経営理念である「利用者本位」「社会貢献」「責任と実行」を基に事業を確実に遂行した結果、社会情勢の変化、地域のニーズに対応した透明で開かれた障害者支援施設の運営に取り組むことができました。

I 障害者支援施設太希おきなわ

(1) 施設入所支援事業

サービス利用状況

①定員：60名 ②現員：55名

②障害支援区分別人員

区分 性別	区分3	区分4	区分5	区分6	入所者数 計
男性	5 (-1)	5 (-6)	9 (-4)	13 (+9)	32名
女性	1 (+1)	7 (-)	7 (-1)	8 (+1)	23名
計	6	12	16	21	55名

※ () 内数値は昨年度との比較/全体の2割が支援の度合いが高くなっている。

③年齢別・性別の状況

年齢 性別	20未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	計	平均年齢 (歳)
男性	0	0	0	2	8	13	9	32	63.5
女性	0	1	1	1	5	10	5	23	60.9
計	0	1	1	3	13	23	14	55	62.4

※昨年度比 男性0.8歳↑ 女性1.8歳↑

④入院状況

月 性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
男性	人	4	4	4	4	2	4	1	1	1	2	3	4	34
	回	4	6	4	4	2	5	1	1	1	2	5	5	40
女性	人	0	1	2	1	1	0	1	1	1	3	2	3	16
	回	0	1	2	1	1	0	1	1	1	3	2	3	16
計	人	4	5	6	5	3	4	2	2	2	5	5	7	50
	回	4	7	6	5	3	5	2	2	2	5	7	8	56

⑤入退所別人員

	R4年3月 利用者数	入所 (新規契約)					退所 (契約終了)					R5年3月 利用者数
		在宅	GH	医療 機関	施設 ・他	計	在宅 復帰	GH	医療 機関	死亡	計	
男性	34	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	32
女性	21	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	23
計	55	2	0	0	0	2	0	1	0	1	2	55

(2) 生活介護支援事業

サービス利用状況

①定員：60名 ②現員：57名

③障害支援区分別人員

区分 性別	区分3	区分4	区分5	区分6	入所者数 計
男性	6 (-1)	5 (-6)	9 (-4)	13 (+9)	33名
女性	2 (+1)	7 (-)	7 (-1)	8 (+1)	24名
計	8	12	16	21	57名

※ () 内数値は昨年度との比較 / 全体の2割が支援の度合いが高くなっている。

※参考：55名は施設入所者、2名は通所者。

③新規入所退所の内訳

	R4年3月 利用者数	R5年3月 利用者数
男性	36	33
女性	22	24
計	58	57

※コロナ感染拡大により1名が利用実績無し。
 ※7月中旬の集団感染ではフロア別のゾーニングを実施し、
 防護ながら食事提供(使い捨て容器使用)、清拭、利用者への
 マスク着用及び消毒徹底等、流行期の対応から徐々に緩和・
 制限解除しながら支援した。

サービス内容(施設入所支援・生活介護事業)

①介護給付費対象サービス

種類	サービスの内容
相談及び援助	・利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を行った。
排泄	・適切な排泄援助を行うと共に、自主排泄を目指した適切な支援を行った。
介護	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況に応じて適切な技術をもって食事・整容・更衣・排泄等生活全般にわたる援助を行った。 ・入浴(毎日)全面、一部介助、見守り等必要に応じて適切に対応した。 ・着脱衣 必要に応じて介助、確認をした。 ・整容、毎食後の口腔ケア、洗面の介助、確認等個性を尊重した適切な支援をした。 ・生活のリズムを整えるような支援をした。 ・利用者の障害支援区分の重度化に伴い、直接処遇を行う看護職員と生活支援員の人員体制の拡充を図った。 ・医療ケアを必要とする利用者に対するサービス提供体制の充実を図るため、常勤の看護職員を3人配置し、薬液注入、注射管理、排尿・排便管理を実施した。

<p>健康管理</p>	<p>・日常生活上必要なバイタルチェックや投薬、その他身体機能又は生活能力の向上のために行なわれる必要な援助を行なった。また医療機関との連絡調整及び協力医療機関を通じて健康保持のための適切な支援を行った。</p> <p>〈当事業所の嘱託医〉</p> <table border="1" data-bbox="470 443 1390 544"> <thead> <tr> <th>氏名</th> <th>診療科</th> <th>診療日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名嘉勝男</td> <td>外科</td> <td>毎月第2水曜日 14:00~16:00</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈協力医療機関〉</p> <table border="1" data-bbox="470 591 1390 741"> <thead> <tr> <th>医療機関名</th> <th>診療科</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南部徳州会病院</td> <td>内科・外科</td> <td>八重瀬町字外間 171-1</td> </tr> <tr> <td>上地歯科医院</td> <td>歯科</td> <td>八重瀬町字宜次 706-1</td> </tr> </tbody> </table>	氏名	診療科	診療日	名嘉勝男	外科	毎月第2水曜日 14:00~16:00	医療機関名	診療科	所在地	南部徳州会病院	内科・外科	八重瀬町字外間 171-1	上地歯科医院	歯科	八重瀬町字宜次 706-1
氏名	診療科	診療日														
名嘉勝男	外科	毎月第2水曜日 14:00~16:00														
医療機関名	診療科	所在地														
南部徳州会病院	内科・外科	八重瀬町字外間 171-1														
上地歯科医院	歯科	八重瀬町字宜次 706-1														
<p>日中活動及び余暇活動支援</p>	<p>利用者の個別支援計画に基づき、個々の健康状態と生活環境に配慮した、日常生活で必要とされる介助、余暇活動に関する支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴、排泄及び食事等の介護 ・調理、洗濯及び掃除等の家事 ・生活等に関する相談及び助言 ・余暇活動支援（週間プログラムを活用） <p>月・金曜日（心身機能の維持や改善を目的としたレクリエーション支援） 火・木曜日（創作活動、又は筋力の維持・向上を目的としたユニット支援） 水・土曜日（買い物、各種手続き等、個別のニーズに対応する担当者支援）</p>															

②介護給付費対象外サービス

<p>食事サービス</p>	<p>・栄養士の献立表により、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、安全でバランスのよい、バラエティに富んだ食事を提供した。 但し、通所による利用者については昼食だけを提供した。</p> <p>・食事形態</p> <p>療養食 11食 （糖尿病、高脂血症食、肝臓病食、腎臓病食） 減塩食 23食 キザミ食 20食 ミキサー食 3食 超キザミ食 5食 超キザミペーストかけ 1食</p> <table border="1" data-bbox="464 1816 1270 1957"> <tbody> <tr> <td>朝食</td> <td>7時45分～ 8時30分</td> </tr> <tr> <td>昼食</td> <td>11時45分～12時30分</td> </tr> <tr> <td>夕食</td> <td>17時45分～18時30分</td> </tr> </tbody> </table>	朝食	7時45分～ 8時30分	昼食	11時45分～12時30分	夕食	17時45分～18時30分
朝食	7時45分～ 8時30分						
昼食	11時45分～12時30分						
夕食	17時45分～18時30分						

(3) 短期入所事業

サービス利用状況

①定員：4名

②月別利用実績 件数、()内は利用者数

月 性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
男性	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)
女性	1件(1人)	5件(3人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)
計	1件(1人)	5件(3人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)

月 性別	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)
女性	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	1件(1人)
計	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	0件(0人)	1件(1人)

月 性別	合計
男性	0件(0人)
女性	7件(5人)
計	7件(5人)

※コロナ感染予防対策のため7月12日～8月5日休止とした。その後も社会情勢をみながら都度判断。緊急の場合の対応のみとした。

・参考：R3年度実績 12件(10人)

サービス内容

①介護給付費対象サービス

種類	サービスの内容
支援内容	・介護者の諸事情により自宅で介護することが困難な場合に、短期間において、夜間を含めた施設支援を行った。
排泄	・適切な排泄援助を行うと共に、自主排泄を目指した適切な支援を行った。
介護	・利用者の状況に応じて適切な技術をもって食事・整容・更衣・排泄等生活全般にわたる援助を行った。 ・入浴(毎日)全面、一部介助、見守り等必要に応じて適切に対応した。 ・着脱衣 必要に応じて介助、確認をした。 ・整容、毎食後の口腔ケア、洗面の介助、確認等個性を尊重した適切な支援をした。

健康管理	・日常生活上必要なバイタルチェックや投薬その他身体機能又は生活能力の向上のために行なわれる必要な援助を行なった。		
	〈当事業所の嘱託医〉		
	氏名	診療科	診療日
	名嘉勝男	外科	毎月第2水曜日 14:00~16:00
	〈協力医療機関〉		
	医療機関名	診療科	所在地
	南部徳州会病院	内科・外科	八重瀬町字外間 171-1
	上地歯科医院	歯科	八重瀬町字宜次 706-1

②介護給付費対象外サービス

食事サービス	・栄養士の献立表により、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、安全でバランスのよい、バラエティに富んだ食事を提供した。		
	〈食事の提供時間〉		
	朝食	7時45分～ 8時30分	
	昼食	11時45分～12時30分	
	夕食	17時45分～18時30分	

(4) 就労継続支援B型事業 (I) 障害者支援施設太希おきなわ
サービス利用状況

①定員：30名 ②現員：27名

②障害支援区分別人員

区分 性別	区分 なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	12	0	0	1	2	0	0	15
女性	8	0	0	2	1	1	0	12
計	20	0	0	3	3	1	0	27

③年齢別・性別の状況

年齢 性別	20未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	計	平均年齢 (歳)
男性	0	0	0	5	2	4	4	15	59.9
女性	0	0	2	3	2	3	2	12	54.5
計	0	0	2	8	4	7	6	27	57.5

※昨年度比 男性 1.6↓ 女性 2.0↓

④新規・終了の利用者の内訳

区分 性別	R4年3月 利用者数	新規	終了	R5年3月 利用者数
男性	15	1	1	15
女性	12	1	1	12
計	27	2	2	27

⑤作業内容

作業内容	受注形態	受託企業
トタン釘の組み立梱包作業	受託	(株)丸久商会
ウエス系取り仕上げ作業	受託	(株)大翔
菓子パン、食パン等製造販売	自主製造販売	
琉球みやらびこけしの製造販売	自主製作販売	

⑥作業実績、収入額及び工賃額（工賃の支払い）

当事業所独自の工賃支給規程により、上記の作業内容における事業収入から作業に従事している利用者に支払った。

項目 年度	延人数	総収入額（円）	支給総額（円）	平均月額工賃 （円）
R4年度	320	17,715,970	7,608,240	23,776
R3年度	446	21,504,810	11,570,730	25,943

※R3年12月1日より就労支援センター太陽の町へされる。

※参考：厚生労働省 令和3年度平均工賃 全国16,507円・沖縄16,016円

平均月額工賃	27,456円
--------	---------

(注) 月の途中からの利用開始者及び利用終了者にかかる当該月の工賃及び利用日数は、算定から除外した。また当該月に利用実績がない等の理由で工賃実績がなかったものについても算定から除外した。【厚生労働省 令和3年度平均工賃 全国16,507円・沖縄16,016円】

サービス内容（就労継続B型事業）

①訓練等給付費対象サービス

種類	サービスの内容
相談及び援助	・利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を行った。

健康管理	・日常生活上必要なバイタルチェックや投薬その他必要な管理、記録を行った。また医療機関との連絡調整及び協力医療機関を通じて健康保持のための適切な支援を行った。		
	〈当事業所の嘱託医〉		
	氏名	診療科	診療日
	名嘉勝男	外科	毎月第2水曜日 14:00~16:00
	〈協力医療機関〉		
医療機関名	診療科	所在地	
南部徳州会病院	内科・外科	八重瀬町字外間 171-1	
上地歯科医院	歯科	八重瀬町字宜次 706-4	

②訓練等給付費対象外サービス

食事サービス	<p>・栄養士の献立表により、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、安全でバランスのよい、バラエティに富んだ食事提供を行った。</p> <p>当施設に於いても、コロナ禍を受け在宅支援や緊急避難的に太陽の町で就労を受け入れて作業を継続し、本体施設でクラスターを経験した7月~8月の間は昼食を弁当に切替えて対応した。</p> <p>〈食事の提供時間〉 昼食時間 12時15分~13時15分</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

〔障害者支援施設運営〕

1 苦情・事故の状況

- (1) 苦情件数 1件 処理：1件
- (2) 事故発生報告件数 10件 (施設入所8件、共同生活2件)
- (3) 新型コロナウイルス感染陽性
- (入所利用者24名、就労利用者6名、共同生活入居者10名)

2 各種会議の状況

- (1) 施設運営会議 毎月2回 (第2・第4火曜日)
- (2) 職務会議 毎月1回 ※コロナ感染予防のため未実施 資料配布
- (3) 生活支援会議 毎月1回
- (4) 工賃支給・就労支援会議 毎月1回
- (5) 給食会議 随時
- (6) ヒヤリハット検討会 随時
- (7) 虐待防止委員会 年5回 (偶数月第4木曜日) ※7月は中止

年間行事等の状況

行事名	期日・場所	摘要
合同会議 (就労・GH)	R4年5月25日 太希おきなわ B棟2階	感染防止対策の為全体ではなく就労とGH合同にて行った。利用者からの意見・要望もあり今後の取組の参考にすることができた。
全体会議 (生活介護)	R4年5月25日 太希おきなわ A棟2階食堂	感染防止対策の為、生活介護のみで行った。利用者との意見交換を図ることができた。
健康診断	(前期)R4年7月4日 (後期)R4年12月2日	身体測定、視力検査、血圧測定、尿検査、胸部レントゲン、心電図、採血を行った。 [前期：105名][後期：127名]
第58回沖縄県身体障害者スポーツ大会	R4年10月8日	新型コロナウイルス感染症の収束見通しが立たず史上初めて参加を見合わせる。
太陽の町 非常災害避難訓練 (総合訓練)	R4年11月15日	日中の火災を想定した共同住宅兼就労支援センターでの初訓練は上階の住民へも事前に協力の呼掛けし緊張感をもって実施できた。
第8回太希おきなわ 秋まつり (ミニ運動会)	R4年11月25日 太希おきなわ 地下駐車場 会議室	雨天のため、場所を正面駐車場から地下駐車場へ変更した。新型コロナ感染対策の為、生活介護と就労利用者を午前午後に分けて実施した。やえせのシーちゃん登場でのダンス、射的やモルック、フリースロー等の6種類のスポーツレクを企画し、利用者や職員も楽しむことができた。
合同望年会	R4年12月28日	新型コロナウイルス感染症対策のため、入所と通所の利用者を分けて実施。クラウン・コトラのバルーンショーや1年振り返りスライドショーを楽しみました。
新春！玉入れの集い	R5年1月18日	新型コロナウイルス感染対策を施し、生活と就労の利用者対抗玉入れ合戦で寒風にも負けず白熱した対戦ができた。あたたかい美味おしるこを皆で頬張り舌鼓した。
沖縄県身体障害者福祉展への出展・表彰	R5年2月1日～5日 中城村護佐丸史資料 図書館	福祉展に合わせ余暇活動等を利用した制作活動は創作意欲も高まり出展数が増え、今回2名の利用者が表彰され更に創作意欲も高まり励みとなった。
生年祝い会 [兔年生9名]	令和5年2月17日 太希おきなわ 正面駐車場	元気で活気ある生活を過ごせることを目的に祝いの会を開催し、大勢の利用者と職員で祝福することができた。民謡歌手の當間清美さんの余興もあり盛り上がった。

<p>太希おきなわ 非常災害避難訓練 (総合訓練)</p>	<p>R5年3月15日</p>	<p>当初6月予定であったが、新型コロナウイルス蔓延の為、社会情勢を注視しつつ実施時期を変更し島尻消防と連携を図りながら実施した。</p>
<p>いとまん平和トリム マラソン</p>	<p>R5年3月19日</p>	<p>感染症対策を行いながら利用者13名がランナーとして参加した。当日は天気にも恵まれ、楽しみながら走り抜けた。事前の練習期間が取れず制限時間内いっぱい、完走することができた。</p>

※行事については、新型コロナウイルス感染症対策を施し就労継続支援B型、生活介護、の別々で開催した。

※クラブ活動についても、新型コロナウイルス感染症対策を施し就労継続支援B型、生活介護、の別々で開催した。

Ⅱ 共同生活援助事業所おきしんきょう

サービス利用状況

①定員数・入居者数

グループホーム玻名城 定員29名・現員27名

グループホーム仲座 定員5名・現員4名 合計31名

②障害程度区分別人員

名称・性別		区分						入居者 合計
		区分無	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
玻名城	男性	13	2	1	2	0	0	18
	女性	5	1	3	0	0	0	9
仲座	女性	4	0	0	0	0	0	4
計		22	3	4	2	0	0	31

③年齢別・性別の状況

性別		年齢							計	平均年齢 (歳)
		20未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上		
玻名城	男性	0	0	0	2	6	6	4	18	61.2
	女性	0	0	0	2	2	3	2	9	60.7
仲座	女性	0	0	0	0	0	3	1	4	68.3
計		0	0	0	4	8	12	7	31	61.9

④入院状況

性別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性		0	0	0	0	1	2	1	0	1	1	1	1	8
女性		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
計		1	1	0	0	1	2	1	0	1	1	1	3	12

⑤事業所入退所別人員

グループホーム玻名城は男性2名が入居し、グループホーム仲座は変動は無し。

区分 性別	R4年3月 利用者数	新規入所者					退所者					R5年3月 利用者数	
		在宅	GH	医療 機関	施設 ・他	計	在宅 復帰	GH	医療 機関	施設 ・他	計		
男性	16	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	18
女性	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
計	29	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	31

福祉サービス提供内容（介護給付費対象サービス）

種類	サービスの内容															
住居の提供	・バリアフリー利用可能な住居の提供を行った。															
相談及び援助	・利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を行った。															
食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・一般家庭と同様の食事提供維持に努め、バラエティに富んだ献立や年間イベント別に食事の提供にも工夫を凝らした。 ・特別食の提供内訳 <table border="1"> <thead> <tr> <th>食事形態</th> <th>きざみ</th> <th>粥</th> <th>あちびー</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	食事形態	きざみ	粥	あちびー	計	男性	1	0	1	2	女性	1	0	1	2
食事形態	きざみ	粥	あちびー	計												
男性	1	0	1	2												
女性	1	0	1	2												
健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活上必要なバイタルチェックや投薬その他必要な管理、記録を行いました。また、バックアップ施設「太希おきなわ」との連絡調整及び協力医療機関を通じて健康保持のための適切な支援を行った。 <p><当事業所の嘱託医></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名</th> <th>診療科</th> <th>診療日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名嘉勝男</td> <td>外科</td> <td>毎月第2水曜日 14:00～16:00</td> </tr> </tbody> </table> <p><協力医療機関></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機関名</th> <th>診療科</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>勝連病院</td> <td>内科・神経科</td> <td>糸満市字真栄平 1026</td> </tr> <tr> <td>上地歯科医院</td> <td>歯科</td> <td>八重瀬町字宜次 706-1</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他、利用者の個別で主となる医療機関</p>	氏名	診療科	診療日	名嘉勝男	外科	毎月第2水曜日 14:00～16:00	医療機関名	診療科	所在地	勝連病院	内科・神経科	糸満市字真栄平 1026	上地歯科医院	歯科	八重瀬町字宜次 706-1
氏名	診療科	診療日														
名嘉勝男	外科	毎月第2水曜日 14:00～16:00														
医療機関名	診療科	所在地														
勝連病院	内科・神経科	糸満市字真栄平 1026														
上地歯科医院	歯科	八重瀬町字宜次 706-1														
日中活動及び余暇活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の普段の生活環境とリズムに配慮した支援を行った。 ・一人ひとりの生活の幅を広げ、豊かな生活につながるよう支援した。 															

⑥行事等の状況

行事名	月日	場所	摘要
道路デー (地域全体清掃)	5月22日(日)	玻名城地区全域	区の行事である清掃活動をとおして地域住民と交流を深めることができた。
道路デー (地域全体清掃)	—	玻名城地区全域	コロナ感染拡大の為中止。
クリスマス 点灯式	—	グループホーム玻名城	コロナ感染拡大の為中止。
非常災害 避難訓練	令和5年 3月23日(木) 3月24日(金)	グループホーム仲座 グループホーム玻名城	B棟1階から出火元で避難訓練をした。全員無事避難することができた。

Ⅲ 特定相談・障害児相談支援事業

1 特定相談支援事業

年度	契約件数		新規		終了	
	者	児童	者	児童	者	児童
R 4	156	20	6	0	5	0
R 3	157	18	3	5	3	3

①基本相談支援

障害福祉に関する様々な内容について、障がいのある方や家族からの相談に応じ、情報提供や助言を行うとともに、市町村及び障害福祉サービス事業所等の関係機関と連絡調整などを行った。

②計画相談支援

[サービス等利用計画の作成]

障害のある方のご希望や目標を伺いながら、サービス等利用計画案を作成し、支給決定後は各福祉サービス事業者と会議、連絡調整を行い、サービス等利用計画を作成した。

[モニタリング]

定期的に障害福祉サービスや利用状況の確認を行い、必要に応じてサービス等利用計画の見直しを行い、福祉サービス事業所等と連絡調整を行った。

年度	サービス利用計画		モニタリング		合計	
	者	児童	者	児童	者	児童
R 4	115	13	200	7	315	20
R 3	116	19	208	19	324	38

③計画相談定例勉強会への参加

計画相談に係る困難事例の検証並びに福祉サービス事業所や福祉関係機関とのネットワーク（情報共有・連絡機能）を図った。

期 日：毎月第3木曜日 場 所：八重瀬町役場

参加者：八重瀬町内計画相談事業所、八重瀬町委託相談支援事業所、近隣市町村（糸満市・南風原町）計画相談事業所

④相談支援定例会議

利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的に開催される会合に参加した。

2 八重瀬町障害者自立支援協議会〔地域生活支援拠点整備部会〕

障害児者の重度化・高齢化等に伴うご家族の緊急時に備え、町内及び近隣市町村の社会福祉機関（相談支援事業所・入所施設等）が連携しながら、当事者及びご家族の支援（一時的な施設の受入や福祉サービスの利用調整）を図るための会合に参加した。

令和4年度 就労支援センター太陽の町 事業報告

「障害者総合支援法」の基本理念のもと、地域社会における共生社会の実現に向けて、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための体制の整備に継続して取り組み、「安心・安全」な福祉サービスを提供するため「人権擁護マニュアル」のもと、「障害者差別解消法」「障害者虐待防止法」の意識を高めて、利用者の人格尊厳を尊重したサービスを展開しました。

令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス蔓延防止の観点から、事業所内の利用者の皆様及び職員への新型コロナウイルスワクチン接種の推奨、PCR検査や抗原検査キットを活用し感染対策強化を図り、BCP（業務継続計画）を基とした対策に努めました。

開所から1年余りが経過し、既存の作業科目の先細りの見え隠れから作業継続の不安要素及び新たな事業展開の模索などの課題が残されました。

その一方で新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、年度途中には就労事業収入の減少もありましたが障害者支援施設の清掃作業、農福連携を目的とした野菜の加工作業、そして太陽商店等の取組みを根気強くやり通した結果、目標が達成できたことは職員の自信に繋がると共に、形あるものとして利用者の工賃に反映することができました。

令和4年度も本会の経営理念である「利用者本位」「社会貢献」「責任と実行」を基に事業を確実に遂行した結果、社会情勢の変化、地域のニーズに対応した透明で開かれた就労支援センターの運営に取り組むことができました。

Ⅳ 就労継続支援B型事業（Ⅱ）就労支援センター太陽の町 ※R3年11月に開所

サービス利用状況

①定員：20名 ②現員：20名

③障害支援区分別人員

区分 性別	区分 なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	12	0	1	0	0	0	0	13
女性	5	0	2	0	0	0	0	7
計	17	0	3	0	0	0	0	20

④年齢別・性別の状況（就労継続B型）

年齢 性別	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	計	平均年齢 (歳)
男性	0	0	0	3	7	3	0	13	55.8
女性	0	0	0	2	1	3	1	7	63.7
計	0	0	0	5	8	6	1	20	59.8

⑤新規・終了の利用者の内訳

年齢 性別	R4年3月 利用者数	新規	終了	R5年3月 利用者数
男性	11	2	0	13
女性	9	0	2	7
計	20	2	2	20

⑥作業内容

作業内容	受注形態	受託企業
県広報誌等発送作業	受託	沖縄県知事公室 広報課
交通安全ポスター発送作業	受託	沖縄県消費・暮らし安全課
生活雑貨等の包装 作業	受託	(有)上原清吉商会
中元歳暮等の箱詰め作業	受託	コープ沖縄
お茶・コーヒーパック等の 袋詰め作業	受託	株式会社ソーエイドー
福祉施設等清掃業務委託作業	受託	社会福祉法人太希おきなわ
ニンジン等選別・袋詰納品	受託	農業生産法人大保農園
野菜等の生産、販売	自主生産販売	

⑦作業実績、収入額及び工賃額（工賃の支払い）

当事業所独自の工賃支給規程により、上記の作業内容における事業収入から、作業に従事している利用者に支払った。

項目 年度	延人数	総収入額（円）	支給総額（円）	平均月額工賃 （円）
R4年度	224	7,191,370	5,870,920	26,209
R3年度	66	2,393,052	2,143,990	32,484

※R3年の平均月額工賃はR3年11月からR4年5月の6カ月間の実績。

※参考：厚生労働省 令和3年度平均工賃 全国16,507円・沖縄16,016円

平均月額工賃	28,254円
--------	---------

（注）月の途中からの利用開始者及び利用終了者にかかる当該月の工賃及び利用日数は、算定から除外した。また当該月に利用実績がない等の理由で工賃実績がなかったものについても算定から除外した。

サービス内容

①訓練等給付費対象サービス

種類	サービスの内容		
相談及び援助	・利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を行った。		
健康管理	・日常生活上必要なバイタルチェックや投薬その他必要な管理、記録を行った。 また医療機関との連絡調整及び協力医療機関を通じて健康保持のための適切な支援を行った。 〈当事業所の嘱託医〉		
	氏名	診療科	診療日
	名嘉勝男	外科	毎月第2水曜日 14:00~16:00
	〈協力医療機関〉		
	医療機関名	診療科	所在地
	南部徳州会病院	内科・外科	八重瀬町字外間171-1
上地歯科医院	歯科	八重瀬町字宜次706-4	

②訓練等給付費対象外サービス

食事サービス	・栄養士の献立表により、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、安全でバランスのよい、バラエティに富んだ食事の提供を行った。 ・当施設に於いても、コロナ禍を受け在宅支援や緊急避難的に太陽の町で就労を受け入れて作業を継続し支援した。また、本体施設でクラスターを経験した7月~8月の間は昼食を弁当に切替えて対応した。 〈食事の提供時間〉昼食時間12時15分~13時15分
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度 公益事業 事業報告

1 意思疎通支援事業

聴覚障害のため意思疎通を図ることに支障がある者に手話通訳等の方法により、聴覚障害者とその他の者を仲介する手話通訳者等・要約筆記者等を派遣し、意思疎通の円滑化を図ることを目的に事業を実施した。

(1) 派遣期間 R4年4月1日～R5年3月31日

(2) 派遣内容

	内 訳	手話通訳(件数/名) ※リレー通訳の件数も含む	リレー通訳	要約筆記
1	医療・保健	441件/通訳者等 446名	10件/10名	10件/10名
2	司法	3件/通訳者等 4名	1件/1名	0件/0名
3	社会生活	122件/通訳者等 131名	1件/1名	1件/1名
4	労働・雇用	252件/通訳者等 304名	0件/0名	3件/9名
5	教育・保育	20件/通訳者等 23名	0件/0名	5件/5名
6	社会参加活動	114件/通訳者等 232名	0件/0名	23件/58名
7	その他	0件/通訳者等 0名	0件/0名	0件/0名
	合 計	952件/通訳者等 1140名	12件/12名	42件/83名

2 定例学習会の開催

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、開催を制限していたので、実施できたのが下記の1回のみとなる。

日時 R4年10月6日(木) 19:00～20:30

場所 ZOOMにて開催

内容 第58回沖縄県身体障害者スポーツ大会について

参加者 10名

3 令和4年度意思疎通支援事業担当者会議

新型コロナウイルス感染症感染対策のため中止した。

4 令和5年度向け登録者説明会

(1) 新型コロナウイルス感染防止のため今年度は中止。登録者には資料を送付し、対応した。

5 令和4年度 特殊健康診断(頸肩腕健診)の実施

診察場所 とよみ生協病院健診センター 受診者数 40名

受診日 <1回目> R4年10月8日(土)

<2回目> R4年11月12日(土)

<3回目> R5年1月14日(土)

診察場所 うむやすみやあす・ん診療所(宮古市)

受診日 通年(月・金・土予約制) 受診者数 5名

6 通訳実習並びに行事協力

(1) 日時 R4年7月23(土)

場所 豊見城市海浜公園 夢咲広場

内容 沖縄身協創立50周年チャリティーモルック大会 ※1名協力(手話)

(2) 日時 R4年8月7日(土)、8月20日(土)、10月8日(土)

12月17日(土)、R5年1月15日(日)

場所 沖縄県総合運動公園、奥武山公園等

内容 第58回沖縄県身体障害者スポーツ大会 ※19名協力(手話)

(3) 日時 R4年9月23日(金)、11月5日(土)

場所 名護青少年の家、うるま市勝連地区公民館

内容 沖縄県障害者スポーツサポーター養成講習会 ※4名協力(手話)

(4) 日時 R4年10月21日(金)、11月11日(金)、12月2日(金)

場所 本部町民体育館、うるま市石川体育館、豊見城市民体育館

内容 沖縄県身体障害者ボッチャ教室 ※6名協力(手話)

(5) 日時 R4年11月19日(土)

場所 与那原町上の森かなちホール

内容 第55回沖縄県身体障害者福祉大会 ※8名協力(手話・要約)

(6) 日時 R5年1月29日(日)

場所 沖縄県総合運動公園レクドーム

内容 第18回沖縄県身体障害者グラウンド・ゴルフ大会 ※6名協力(手話)

(7) 日時 R5年2月1日(水)

場所 中城村吉の浦会館

内容 第62回沖縄県身体障害者福祉展 ※2名協力(手話)

第62回沖縄県身体障害者福祉展 動画用撮影 ※1名協力(手話)

(8) 日時 R5年3月7日(火)

場所 沖縄市民会館 中ホール

内容 R4年度障がい者福祉講演会 ※5名協力(手話・要約)

7 手話通訳・要約筆記契約市町村 ※東村は新規契約

契約名	市町村
手話通訳者等・要約筆記記者等派遣契約	国頭村・今帰仁村・東村・本部町・恩納村・金武町・中城村・豊見城市・八重瀬町・南城市、与那原町・読谷村(12カ所)
要約筆記記者等派遣事業	那覇市(1カ所)
時間外緊急時手話通訳者派遣契約	うるま市・沖縄市・嘉手納町・西原町・糸満市・浦添市(6カ所)

令和4年度 収益事業 事業報告

物品販売等の収益事業を実施し、自己財源を確保することにより法人の財政基盤の強化と安定を図るとともに、その活動を通じて各種団体との連携を深め、県民に対して障害者福祉事業への理解と協力を努めた。

1 実施事業

(1) 加工食品の販売（ギフトセット等）や名刺作成

お中元やお歳暮用の商品を各市町村身協（幹旋販売）、沖身協会員、関係業者、家族会等に販売し、その収益は障害者福祉事業に活用することができ、各市町村身協には活動資金として還元金を支払うこともできた。

種類	R4年度	R3年度
お中元	目標額 2,009,500円	目標額 1,840,500円
	実績額 1,830,650円	実績額 1,794,550円
	目標個数 920個	目標個数 820個
	実績個数 703個	実績個数 825個
お歳暮	目標額 1,511,400円	目標額 1,988,400円
	実績額 944,550円	実績額 1,946,500円
	目標個数 752個	目標個数 982個
	実績個数 471個	実績個数 713個
50周年 記念事業	目標額 2,550,000円	
	実績額 2,620,544円	

内 容 加工食品等（お米・素麺・マンゴー・ジュース飲料・鏡餅）
加工食品・雑貨等（オキハム・タオル・バッグ・クリアファイル・除菌スプレー）
販売協力 県内身体障害者福祉協会12箇所
法人会員団体等52件

(2) 自動販売機の設置

販売機設置業者とのタイアップにより販売機売上金の一部をコミッションして寄与されることで、福祉活動資金に活用することができた。

- ①設置箇所 現在4箇所（3市町／うるま市・八重瀬町・糸満市）
- ②設置台数 10台（新設置5台）

2 実施期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日